

おわりに

本日はご多用の中、本研究発表会にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

道徳教育に係る学習指導要領の一部改正が行われ、「特別の教科 道徳」として新たに位置づけられた趣旨を踏まえて、道徳教育の抜本的改善・充実を目指してこの2年間大仁中学校区3校で研究を進めて参りました。教育活動全体で行う道徳教育と、道徳の時間の授業をどのように関わらせるかについて、道徳の授業研究、特別活動における取組、保護者・地域との連携の3本の柱を立て、3校において連携をしながら実践してきたことを、研究発表と授業公開という形で多くの皆様に公開できましたことは、中学校区教職員一同の喜びとするところでございます。

「考える道徳」「議論する道徳」へと道徳の授業の転換を図るために、「特別の教科 道徳」の特質を生かした授業構想について、文部科学省教科調査官の赤堀博行先生に直接ご指導を賜りましたことにより、道徳の授業において道徳的諸価値の理解と、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるという、道徳科の授業の在り方に真正面から取り組む姿勢を植え付けていただきました。また、研究同人に記載してありますように、各方面の先生方からご指導をいただきました。紙面をもって、厚くお礼申し上げます。

児童生徒の道徳性の向上が感じられる場面、教職員の道徳教育に取り組む態度、保護者・地域住民の皆様への道徳教育に対する理解の深まりなど、児童生徒の道徳性を養う地盤ができつつあることを実感として感じております。しかし、まだまだ研究途上で課題も山積しております。本日、皆様からいただきました貴重なご意見を生かし、さらに研究を進めて参りたいと考えております。末筆ながら、皆様の益々のご健勝をお祈りするとともに、今後とも尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

伊豆の国市立大仁小学校長 荻島美智子